

平成24年4月27日

平成23年度「教育研究支援プロジェクト経費」成果報告書

プロジェクトチームの代表者 コース等名 学校・学級経営コース

氏 名 阪 根 健 二

プロジェクトの名称	防災を考える教員を育成する	配分 予算額	180,000円
プロジェクトの概要	<p>東日本大震災では甚大な被害を受け、学校教育にも影を落としている。徳島県においても、南海地震が予測されており、これから教員を目指す学生・院生にとって自分のこととして考えていかなければいけない内容である。</p> <p>今回のプロジェクトは、学校危機管理（学部・院）の授業とリンクしており、昨年も徳島県危機管理部南海地震防災課の協力を得て、南海地震対策について、学内で実施してきた。しかし、切迫感をもって対応する必要があることから、今回特に現地実習を企画するものである。</p> <p>今回の申請は、徳島県南部地域での過去の津波被害の状況（最古の津波被害記念碑）、防災対策（津波対策タワー）、学校の取り組みなどを自分たちの目で確認し、その成果を共有するものである。</p> <p>そのため、これまでの各学校で実施された防災教育の実態を収集し、その上で、現地実習で得た内容などを、学生の手でリーフレットなどにまとめる。なお、このリーフレットは、本学の学生や院生の防災指導にも活用できるものである。</p> <p>本プロジェクトは以下の手順で実施した。</p>		
成果の概要	<p>○平成23年6月 国内客員研究員と検討会を開催し、計画並びに研究方法の概要を策定した。</p> <p>○平成23年10月 研究組織全員により、研究計画に沿って実習を企画。なお、実習は、学部授業（2年標準履修）の「学校の危機管理」を活用することとした。</p> <p>○平成24年1月28日 現地実習を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地実習（美波町）を行うとともに、防災関連の会合に参加した。 ・実習後、学校における地震対策などの指導例の収集と検証を行った。 <p>○平成24年3月 研究成果のとりまとめ、学生の手によって、リーフレットを完成させた。なお、本プロジェクトは、防災についての研究を単に学際的に行うのではなく、防災が喫緊の課題であるため、学生自身の防災感覚の醸成をめざしたものである。</p> <p>また、本学でも南海地震や津波での被害が想定されるため、学生自身が作成するリーフレットを、本学の学生や院生の指導にも活用できるよう、プロジェクト発表にさきがけ、4月から、本学地域連携センター内で成果報告を行っている。（エントランスにて展示）。</p> <p>なお、客員研究員である益井英子氏は、地域連携センター広報誌に以下のような論考を寄稿した。</p> <p>「平成24年1月28日（土）に、徳島県の自主防災組織「命のきずな」ネットワーク推進事業（交流支援）の参加者と合流し、鳴門教育大学の教官・学生とともに、美波町由岐支所を視察しました。公民館とその周辺会場を中心に、地域の方々と交流を持ち、炊き出しや地域の防災施設・避難場所などを、案内をいただきながら見せていただきました。海岸に近い地形のため、様々な対策がとられており、中でも山際に沿った非常階段は、山の壁面に沿って作られ、山頂は実に35メートルの高さに設けています。最大津波の高さが、想定では7メートル以上・第1波が約20分後に陸に押し寄せるなどの具体的な算定をもとに、住民の防災意識を高め、緊急時に素早く行動に移すことができるように、日頃より防災訓練を重ねてきたとの説明を受けました。続いて、日和佐浦の「津波避難タワー」を見学しました。タワー上の広さは、100余名が立てる程のスペースがありますが、東日本大震災前の津波の想定に基づいて建てられており、強度や高さ等も含めて、急務の見直しが求められているとのことでした。</p> <p>次に、北島町の「防災センター」にも立ち寄り、震度6弱の揺れを体験しました。1分間程度でしたが、とても長い時間を感じられました。実際に発生した場合、子どもたちがいかなる状況時にも、自らが冷静に判断し機敏に行動できるよう、「自助」のための防災教育を、学校や家庭・地域において行わなければならないと痛感しました。将来、教職に就く学生とともに、体験を通して、子どもたちの命を守り抜くための、様々な貴重な学びを得ることができました。学校現場での避難訓練や防災教育に役立たせたいと思います。」</p>		



- (注) 1. 箇条書き等により簡明に記入すること。
 2. 概要については、800字程度にまとめること。
 3. 研究協力者として院生等が参加している場合、院生等の報告書があれば添付すること。
 4. なるべくパソコン等で作成願います。

区 分	品 名 等	規 格 等	数 量	単 価	金 額	備 考
備 品 費				円	円	
小 計						
消 耗 品 費	拡声器	ハンズフリー拡声器	3	21,200	63,600	実習引率用
	クリアホルダー	コクヨ・レールクリヤーホルダー(5冊)	30個	708	21,240	学生実習用
	蛍光ペン	蛍コート80(10本)	1箱	660	660	学生実習用
小 計					85,500	
そ の 他	借り上げ (貸切バス)	徳島県(美波町) 日帰り	2台	47,250	94,500	実習輸送
小 計					94,500	
合 計					180,000	